

令和6年8月
宮城県七ヶ浜町議会様
テーマ
議会懇談会について

と、より具体性のある深い意見交換を目指している。

問 各種団体と懇談会を実施するようになった経緯は。
答 参加者の減少が課題となってきた。対象者を絞って継続的に実施し、幅広い年齢層・多様な職種の方々

問 懇談対象者（団体）の決定とテーマ選定は。
答 希望する団体からの要請を受け、年2団体と懇談している。テーマは各団体から選定していただく。議会運営委員会で懇談団体を決定する。



視察対応

令和6年11月
福島県岩瀬地方町村議会議員協議会様
テーマ
タブレットを活用した議会運営について

問 タブレット活用の効果は。
答 議会の紙資料の削減による、印刷・整理・保存さらに、郵送にかかるコストと労務の削減につながった。各種の通知や情報提供など、タイムリーなレスポンスが図れた。

問 タブレット活用の効果は。
答 議会の紙資料の削減による、印刷・整理・保存さらに、郵送にかかるコストと労務の削減につながった。各種の通知や情報提供など、タイムリーなレスポンスが図れた。また通信の接続が確保されていると、災害時の安否確認などの情報の共有や必要事項の伝達が可能となり、危機管理体制の強化にもつながる。



2024年12月27日

発行／河北町議会 編集／議会運営委員会

第13回 議員と語る会(2024)

議会懇談会



参加団体：かほく未来都市研究会+MORE
テーマ：再生可能エネルギーでのまちづくり



参加団体：河北町商工会女性部
テーマ：おもてなしツアーを通じた魅力発信

かほく未来都市研究会 +MORE

代表 兼子 祐喜
丸喜屋設備(株)
工藤 泰輔
工藤コンクリート(株)
布川 潤一
布川建築(株)

河北町商工会女性部

部長 奥山 文子
ポラ化粧品マイロード
副部長 茨木 桂子
(株)茨木建設
理事 工藤 洋子
工藤コンクリート(株)
理事 杉浦美代子
定助そばや
理事 安孫子みゆき
(有)安孫子設計事務所
理事 阿部 伸子
ぬーぼうチャウチャウ
理事 渡辺 淳子
ナカジマススポーツ
監事 兼子ひろみ
(有)カネコメガネ倶楽部

発刊にあたって

あとがき
今年度も、昨年と同様の形での議会懇談会を11月5日に開催しました。

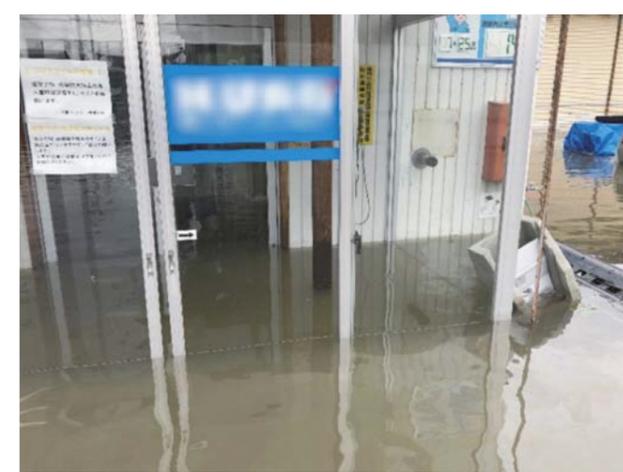
参加された団体は、かほく未来都市研究会+MORE様と、河北町商工会女性部様の二団体です。
参加された団体の皆様、直面している問題や課題について直接お話しをお聞きし、町政に反映していく事がとても大事だと考えます。
議会は、デジタル化を進めています。タブレットによる資料配信や連絡送信、電子システムによる表決方式も今年度から採用しました。
町民の皆様により近くに議会を感じて頂けるよう、様々な方法を考えながら進んでまいります。
(せいこ)

再生可能エネルギーでの まちづくりについて

団体概要
河北町に建設する「地域熱供給システムを用いた若者定住促進タウンの実現」を目的としている。
ヨーロッパ諸国では当たり前になっている「地域熱供給システムを使った集落」の縮小版である最上町の「若者定住環境モデルタウン」を参考に、地中熱（温泉・地下水）と太陽光発電、蓄電池を併用したハイブリッドな、ゼロカーボンエミッション河北版モデルタウンの実現に向けた研究を行っている。



最上町「若者定住環境モデルタウン」



令和2年7月豪雨による洪水被害状況

地球温暖化による自然災害の多発化と対策
○自然災害を減らすために環境対策が必要。
○二酸化炭素を削減する。
○新築の住宅は断熱と気密の性能が高くなっている。
問 今、住んでいる部屋の性能を上げるにはどうすると良いのか。
答 まずは熱の出入りが大きい窓の性能を上げ、壁、床、天井に断熱材等を入れると良い。
○西側の壁がほとんど窓だったので、夏の西日がひどいため、事務所の窓を断熱材を入れた壁に改修した。以前は暖房をがんがん焚いていたが、今はエアコン2台で十分温かい。床と天井の温度差は10度以上あったが、今は



かほく未来都市研究会+MOREが考えるモデルタウンのイメージ

5度程度になった。
○断熱、気密性能が低いと、天井裏に抜ける熱の量はかなり多い。
問 冷房について、エアコンを性能が良い物にするだけで良いのか。
答 近年の家電製品は年々省エネ化が進んでいるので、10年前の物と比べると、かなり効率が良くなっている。
○暖房については、一番コストが低いのは薪だが、用意するのが大変。

最上町「若者定住環境モデルタウン」

問 地域熱の使用料は電気代や灯油代と比べてどれくらい違いがあるのか。
答 各戸に熱量メーター、給湯メーターがある。現在の単価は不明だが、当初の単価は安かった。ボイラーやストーブ等の設備を購入する費用よりは安い。
問 地域熱供給システムの導入について、他市町村での状況は、様々な地域でも



代表 兼子 祐喜氏

河北町にも地域熱供給システムの導入を！



工藤 泰輔氏

断熱改修をしたら室温がガラッと変わりました

やっているが、先進事例で成功した例が最上町の若者定住環境モデルタウンだ。
知識のない人はメンテナンスはできない。
やっているが、先進事例で成功した例が最上町の若者定住環境モデルタウンだ。
問 地域熱供給システムを河北町で導入する上での課題は。
答 周辺市町村から燃料（木材）などを融通してもらった方が安い可能性がある。
問 デメリットも多いのでは。
答 機械が故障しやすい訳ではない。制御装



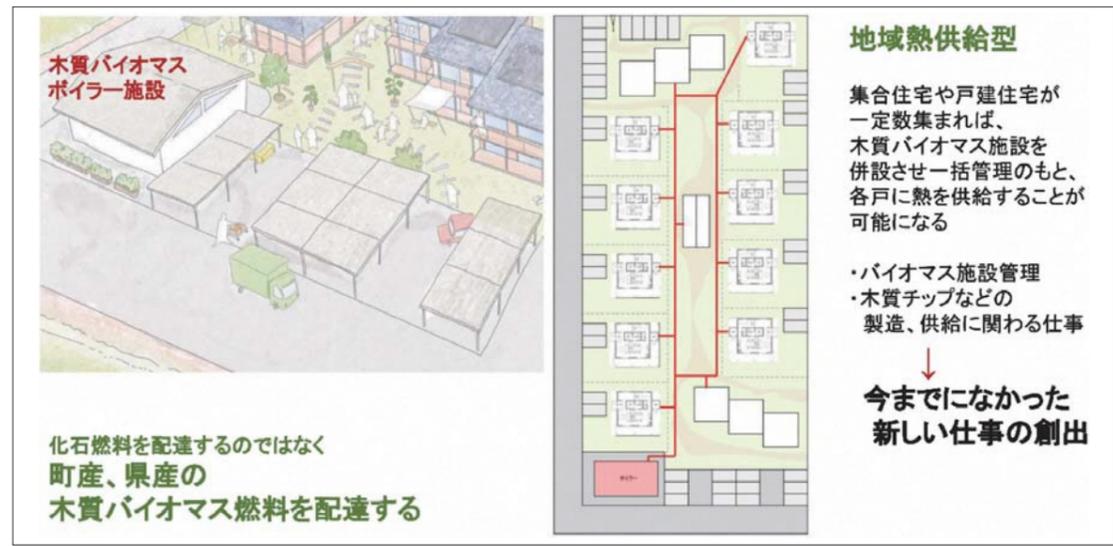
布川 潤一氏

誰もが住みよいまちづくりを目指しましょう

置、ボイラー、配管の組み合わせで構成されている。
問 最上町のモデルタウンはできてから7、8年経っているが、町民目線、行政目線で課題や成果がわかれば。
答 特に、最上町ではアンケートなどをしていない。
住民から引越してきて良かったとの声がとても多かった。
帰ってきて温かい家、雪かきしないで良い家、室温が下がらない家になっている。
問 最上町の若者定住環境モデルタウンは、町道や共同住宅の駐車場が無散水融雪で、インシャルコストがかなりかかるのでは。
答 補助金を上手く使って負担を軽減している。
建設費の6割は補助金で、ランニングコストは除雪車を動かすよりは安いと聞いている。
除雪待ちをする必要がないし、家の前に雪の塊を置いて行かれることもない。

環境問題に対する意識の向上

○民間だけでは限界があるので、官民連携で進める必要がある。
○ゴミの分別について、河北町は生ごみの水分量が多いので、燃焼エネルギーが多く必要。
○環境問題はできることから意識を向上してもらえればよい。



「地域熱供給システム」イメージ図



イタリア野菜の料理を堪能

はどっか。
○「こぎん刺し」の商品を販売しているところがわからない。
○どんが祭りの囃子屋台などをピンポイントでお勧めできないか。
○屋台競演や奴などに



おもてなしツアーの様子(紅花資料館)

おもてなしツアーを通して
魅力発信について

町に足りない部分は
○河北町のPRの仕方。
○草の根的なPRもある。



理事 安孫子 みゆき氏

会えれば感動できるのに、もったいない。
○キャンピングカーで全国を回っている人が、動物園で鳥に触れたのがとても良かったと語ってもらえた。保護している動物を治療しているといったストーリーがとても良い。



理事 阿部 伸子氏

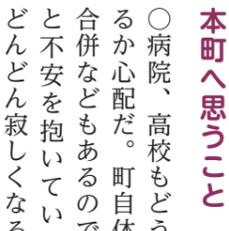
事業を進めるために
○おもてなし交流事業を進めるために、自分達の町を良く知ろうと言う事で「町ゼミ」を企画し実施した。
おもてなし事業は、先進地視察として宮城県登米市に行き、実際



部長 奥山 文子氏

おもてなし
交流事業とは
○全国的な商工会の事業なので、枠組みがしっかりしている。町の観光事業にも寄与できるのではと考える。
に活動を学習した。また、本町の歴史を学び、資料館で「こぎん刺し」を体験し、様々な研修を積んだ。実施には県商工会の補助金を活用した。

本町へ思うこと
○病院、高校もどうなるか心配だ。町自体の合併などもあるのではと不安を抱いている。どんどん寂しくなる河北町だ。



理事 杉浦 美代子氏

が、三軒茶屋にあるアンテナショップの活用や、プロの方にPRをお願いしてはと考える。
○関東地域の需要をつかむには、素人ではわからない部分が多いのではないか。

本町での
おもてなしは
○日本に一つしかない紅花資料館を目玉にして、紅花染体験やこぎん刺し、イタリア野菜の料理を堪能して頂き、本町の物産でマルシェを開催し、お土産をどっさり買って帰路について頂くコースを作る。
町民の皆様や町、議員さんたちにもこの事業を知ってもらう事が



副部長 茨木 桂子氏

重要だと認識している。
本町のお薦めは
○全国に誇れる肉そばや、イタリア野菜などいろいろある。
○河北町には観光資源が沢山あり、安部権内家など江戸や明治からの建物が残っている。
○町民も伝統文化を知ることが大事だ。
○紅花は咲いている期間が短いので紅花染めを体験してもらう。
○舞楽も他の町にはまねできない魅力がある。

る。力添えを頂きたい。
○囃子屋台や八幡宮例大祭など、持続できるようにしてほしい。



河北町物産の女性部交流マルシェ(どんがホール)



監事 兼子 ひろみ氏



理事 工藤 洋子氏

観光事業を考える
○観光協会が中心市街地にならないのが問題だ。ガイドも出来ない。
○他の町では、道の駅で案内している所が多い。
○紅花の通年栽培を研究中だがまだ通年には至っていない。
○まさにこれが、河北町。と言える推しのキャッチフレーズがない。PRが不十分だ。
○福島県の女性部の人達をおもてなししたが、「雛とべに花の里」とHPに出していたので本町に決めたが、資料館にはお雛様がなかった。



理事 渡辺 淳子氏

資料館には、蔵がいっぱいあるので、お雛様を集約して飾って